

磐城日日

発行所 磐城日日新聞社
福島県小名浜町湊51
電話代表397番
接替仙台31,355番
編集長 藤芳郎
発行人

預金と無盡
株式会社
大東銀行
銀行

第五回縣總合体育大會の 會場、會期決まる

八月二十九日より三日間

- ▽バスケット・ボール 平二中、平三中(四五)
- ▽バドミントン 平二小(一〇〇)
- ▽ハンドボール 平二小(一〇〇)
- ▽ラケット・平工高(四五)
- ▽陸上 平競輪場(一一)
- ▽庭球(硬) 平市宮(三三三)
- ▽庭球(軟) 磐女高(二二〇)

第五回縣總合体育大會の打合は十九日午後一時より平市役所會議室に開催され、平市は、か町村関係者等一種目的責任者五十余名を派代表して会場、会期などを決定した。

会場は陸上競技の平競輪場など二十八会場(射的は未定)。會期は八月二十九日より三十一日までの三日間、運営費は百五萬圓。そのうち四十萬圓は、開催地負担、施設費は開催地の市町村に於いて全額負担、事務局は縣と平に置くことに決定した。

会場は次の通り(カッコ内は参加人員)

▽重量挙げ 平市公會堂(四五)

▽軟式野球 湯本茂良(二二五) 好間古河(二二五)

▽卓球 平一小、平一中(二五〇)

▽レクリエーション 平市公會堂

▽藝術競技 平市公會堂 日本間

獨學青年の檢定

七月三十日より開始

獨學青年に大學の道を開いた文部省では昭和二十七年の大入學資格檢定試験を次の通り實施する。

出願期間 昭和二十七年四月二十日から五月三十一日まで。各都道府縣教育事務所(提出のこと)

檢定施行期 来る七月三十日から八月五日まで。全一階に施行する。

檢定施行地 北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、茨城、栃木

下に各人に通知する受験科目 Ⅰ第一類、國語(國語甲) 社会(一般社会) 保健体育(保健体育)

Ⅱ第二類、國語(國語乙) 漢文これらの科目のうちから受験者の選擇する一科目 社会(日本史、世界史、人文地理、時事問題、これらの科目のうち一科目) 物理(物理) 化学(化学) 生物(生物) 地学(地学) 理科(物理、化学、生物)

Ⅲ第三類、社会(日本史、世界史、人文地理、時事問題) 数学(一般数学、解析) 幾何、解析(一) 代数学(代数学)

Ⅳ第四類、物理(物理) 化学(化学) 生物(生物) 地学(地学) 理科(物理、化学、生物)

Ⅴ第五類、物理(物理) 化学(化学) 生物(生物) 地学(地学) 理科(物理、化学、生物)

小名濱青年學級 講師は牧島如鳩氏

講師は牧島如鳩氏

小名浜町公民館主催の本年度第二回成人學級を明年三月十日午後七時より公民館講堂(二階)に於いて開講する。講師は元美術師長牧島如鳩氏であり「生活と美術」について講演する。

なお、講堂を修了後講堂に於いて牧島先生自筆の幻燈画「くさくさ」を上映する。この幻燈画は、近年の生活の多岐多岐を表現するよう公民館では準備中である。

炭礦関係の町村長會議

町村長會議

内郷、湯本、植田など炭礦関係九ヶ町村の町村長會議は本月二十二日午前九時より湯本町役場に於て開催する。

住民登録に就ての要望

小名浜町

抱いている人々である。一般に女性読者はエロイクト風を好み、フロロイクト風の冷淡な不潔で醜惡な世相や人間を描いた小説を何かが高級なもののように思い、人間の眞實を絶えず引き下げて考へるを見出しては一種の快びを見出し、この大げさな一部男性の讀者よりも遙かに高級である。

しかし、この大げさな小説とは、彼女たちは小説の中に理想化された自分の

若き男女の讀書に就て

私たちは誰でも小説を讀んだ経験をもっている。しかし私たちの讀書生活を振り返ってみると、山讀んだ小説の割に心に残っている作品が少ないことに氣がつく。それが小説ならいざ知らず世間で評判の名作ともてはやされた小説を相當に讀

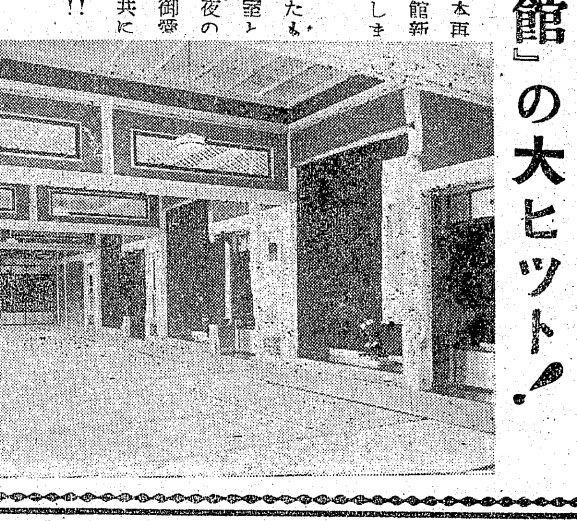
これは単に小説のみならず、一切の藝術に通じた現われであるが、しかしこのことから直ちにクレベルが低いとか、小説の讀み方を知らないとか、感動したか否かの小説に動かしやういふことを考へ、吟味してみることが小説を讀む上に最も大切なことであると思ふ。單なる氣晴しや娯樂、低欲望のための小説を讀むのでなく、

【小名濱中央青果市】
玉菜八一五葉玉ねぎ一五〇〇大根四〇〇六七さや豆一五〇〇一九〇ほうれん草三九九にら二四馬鈴薯八〇〇八五人参四〇〇竹の子四〇〇〇五〇卵七、七〇〇八【小名濱魚市場】
平政四〇〇ひなだ一九〇小平目四〇〇ひらめ四五〇唐人一七たこ一〇さめさ五〇

紳士服・婦人服
純毛服地と裏附屬切賣
より良い より安い 洋服を
純毛服地専門 **大井洋服店**
小名濱町本

藤越
お買物上手は... 見逃さない安さ...
五月廿二日(日)限り
この廣告切符持参
御一人様一点限り
小名浜市

若葉館
旅割烹 若葉館
小名浜町埠水素前
電話三五〇番



経費をかけずに良い品安く
白生地大暴落
少しづつ高くなりましたが...
旅行用品 手提 各種
靴 各種
傘 各種
お買物上手は... 見逃さない安さ...
五月廿二日(日)限り
この廣告切符持参
御一人様一点限り
小名浜市

弾圧法反対のストは違法

東部産連態度強硬

スト決行せば損害要求

炭労では中央の指令により、破防法撤回、労働三法改悪反対、ゼネスト禁止などの労働弾圧制度反対を目標とする二十八日よりの二十四時間スト決行を加緊三十労働組(二万二千名)に指令した。

これに對して東部産連では十九日平石炭事務所理事會を開き、警察労に對して第二波ストを行った場合は政治的ストとして労働者に損害を要求し責任者に対し責任の追及をなすという日本産連の決定を確信すると共に強硬な態度をとっているが、警察労では全日東部産連に對してストは本部の指示、指令によるもので組織者として当然の義務を果たすための合法的、自主的なストである、この活動をなす幹部組合員に對し連帯側が不当な行為に出る場合は全體的に實力行使を行うことは鐵道として承知する。

支部長北郷徳助氏

交安協會植田支部總會

交通安全協會植田支部では十九日植田公民館に於て總會を開き、二十六年度の決算報告、會則の一部改正など各報の原案を可決、最後に「町村當局に對する補助申請について」阿部支部長の説明あり、中根警備、北郷徳助の兩氏は交々に立って交通安全の重要性を説き、通安の重要性を説き、

あばれ熨斗

原作は夕刊毎日連載して大好評を博した土師清二の快心作、主演は久方振りの嵐寛寿郎が花形役者中村仲蔵と大名荒しの怪盗稲葉小僧の二役を扮して大活躍、脚本、監督を安達伸生が擔當した。これに時代劇第二回出演

警壇座上映

二十三日、二十六日、明和の頃江戸で評判の盗賊稲葉小僧新助は紀州家の御殿へ忍び入り発見されたが、稲葉の局(三浦)の計いでその場から解放された、しかし新助の心には稲葉の局の氣高い美しさが忘れられ、稲葉の父(長谷川)の實家「松代屋」へ身をよせ、この責任を問われて、生田屋の部下の手先

湯本觀協の役員決定

湯本町觀光協會では十七日午後一時より全町公民館に於いて役員會を開き役員の改選を行い次の通り決定した。

会長：小野英二、副会長：鈴木康平、塚本伸一、宣傳部長：比佐榮一、サビス部長：松本康造、施設部長：小井戸庄松、經理部長：吉田恭平、行專部長：高教佐久馬

湯本觀協の役員決定

専門會で説明開く

小名浜町商店會(理事長齊藤英二)では本二十二日午後一時より公民館に於て組合員參集の場となり、同會の發足に先んじてクボンの他に行き取上の説明會を開き、

西山直三郎氏急逝

縣教育界の功勞者

小名浜町第一保育所兼母子寮指導主事西山直三郎氏は二十日職務中腦溢血のため倒れ、受診されたが、遂に二十一日午前五時五十分逝去された。西山氏は明治二十年生れの六十五才、明治三十七年十二月大野尋常高等小學校に教鞭を執られて、昭和二十年三月小名浜高等女學校校長を最後に退職するまでの教壇生活四十二年に及ぶ教育界の功勞者である。

植田町役場に厚生會

植田町役場は町内の美化と事務能率の増進を期し町民に對しては親切温和を期するため厚生會を組織している。

第二春日丸

江名町南町坂本春吉氏所有第二春日丸(三四四四)船長坂本春吉氏は十九日午後九時ごろ宮城縣釜石港より江名に向け歸港の途中小名浜海岸に坐礁した。小名浜海上保安部に入電があり、全部より二十一日午前四時巡視船「曙丸」が救援に向い、地元江名よりは第一春日丸他三隻が出動した。

豊間に赤痢 二名発生

豊間町大字豊間字猿田一三農鈴木勝彌(五一)さんと四男史郎(一三)さんの兩人は去る十三日發熱間診察所の診察の結果、疑似赤痢と決定され、日豊間隔離舎へ収容された。

少女の家出

小名浜町大原東野地一〇五農鈴木秋男(三五)さん養女博子(一五)さんは十九日午後九時頃無断外出した。二十一日に至るも歸宅せず家出した。至るも歸宅せず家出した。

かりんと祭

湯本町商店界では十九日より二十八日まで十日間「かりんと祭」を行つて、この期間中は「かりん」と「百五五」買上げ毎にサービス抽籤券を贈呈し、全日即時抽籤をなして賞品を渡している。

情報無用の街

この映画は、戦後初の本務機の上には専門家の手によつて新鮮な生花を備え、常に新鮮の氣を室内にみながら送る、更なる事務室内の装飾替などにも計画しており、渡邊町長も理解している。点よりみて早期実現されるものと期待されている。なお會長は庶務主任岡田賢氏である。

良質ノ牛乳ハ

優秀ノ現代設備ヲ有スル ミルクプラントヨリ

新緑と共に御家庭皆々様の御要望に答へ、今回復生的に完全なる設備を以ちビタミンを破壊せぬ低温殺菌の牛乳處理並に販賣を致す事に成りました。

少量でも迅速に御届出ますから御試飲御援助の程伏して御願ひ申し上げます。

昭和二十七年四月 敬告



小名浜町中明町二番地 小野ミルクプラント 電話 六三番

印刷は 長瀬へ

父西山直三郎先生遺體五月二十一日午前五時五十分腦溢血にて死去致しました。茲に生前の御交誼を感謝し謹んで御知らせ致します。追つて火葬は本日午後六時州府に於て相替ります。午後二時告別式は自性院に於て相替ります。昭和二十七年五月二十二日 小名浜町船場 親戚總代 西田山 友入總代 高木長年

恩師西山直三郎先生遺體五月二十一日午前五時五十分腦溢血にて死去致しました。茲に生前の御交誼を感謝し謹んで御知らせ致します。追つて火葬は本日午後六時州府に於て相替ります。午後二時告別式は自性院に於て相替ります。昭和二十七年五月二十二日 小名浜小学校同窓會三五會 作山安太郎 小野川正巳 大井虎次郎 馬井喜一 安戸亮海